

平成23年度第6回看護研究倫理委員会議事要旨

日 時 平成23年9月12日（月） 16時15分～17時00分
場 所 看護学科棟1階 学科長室
出席者 足立委員、三瓶委員、八塔委員、藤田委員、加藤委員、飯塚委員
欠席者 内田委員、秦委員
委員以外の出席者 申請者（福富院生、原教授）

- 本委員会は、本学医学部看護研究倫理委員会規則第5条の規定に基づく3分の2以上の出席を得て成立した。
- 議事に先がけて足立委員長代理より、8月31日付で異動になった中谷委員に代わり、臨床看護学講座の三瓶まり教授が就任した旨報告があった。
- 平成23年8月8日開催の平成23年度第5回看護研究倫理委員会議事要旨を了承した。

議事

1. 看護研究申請書の審査について

- （1）課題名：急性期病院における高齢遷延性意識障害患者への看護ケアの構造
・・・・・・・・・・資料1

足立委員長代理から、資料1のとおり福富院生より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。

続いて申請者の福富院生から研究の概要等についての説明、及び各委員から質疑等があった。

引き続いて審議の結果、参加、不参加が上司等にわからないよう配慮する具体的な方法について記載すること、及び委員会で指摘があった事項について修正することとし、本件申請について承認した。

- （2）課題名：介護老人保健施設における認知症ケアガイドラインの開発
・・・・・・・・・・資料2

足立委員長代理から、資料2のとおり原教授より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。

続いて申請者の原教授から研究の概要等についての説明、及び各委員から質疑等があった。

引き続いて審議の結果、本件申請について承認した。

2. 報告事項

足立委員長代理より、前回の委員会で審議した案件については、修正箇所を確認した上で承認とし、通知書を発行した旨報告があった。

- （1）申請者：臨床看護学 教授 三 瓶 ま り

課題名：模擬患者とシミュレーション教材を併用した看護技術教育の効果の検討

審査結果：平成23年8月8日付で承認（平成23年8月10日付で通知書送付）

(2) 申請者：地域看護学 教授 藤 本 比登美

課題名：発達障害生徒の発作的行動の誘因の探索

審査結果：平成23年8月8日付で承認（平成23年8月16日付
で通知書送付）

3. その他

- 次回の看護研究倫理委員会について、定例の第二月曜日が祝日となるため、平成23年10月17日（月）16時15分から開催することとした。